

CITATION: Taefi A, Abrishami A, Nasser-Moghaddam S, Eghtesad B, Sherman M. Surgical resection versus liver transplant for patients with hepatocellular carcinoma. *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2013, Issue 6. Art. No.: CD006935. DOI: 10.1002/14651858.CD006935.pub2.
CRG名: Cochrane Hepato-Biliary Group.

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 18 February 2013
Clib issue No.; N/U: 2013 Issue 6; Update

アブストラクト

背景: 肝細胞癌は世界的に大きな健康問題であり、毎年50万人を超える患者が新たに発生し、罹患率は世界の地域により異なる。肝細胞癌は肝硬変患者の約80%に発症するため、肝硬変が肝細胞癌の最も強い素因であると考えられている。肝細胞癌患者の長期間の生存を可能にする通常の治療法には、外科的切除および肝臓移植がある。

目的: 肝細胞癌患者における外科的手術の利益および有害性を、肝臓移植と比較評価する。

検索戦略: コクラン・ライブラリのCochrane Hepato-Biliary Group Controlled Trials Register、Cochrane Central Register of Controlled Trials (CENTRAL)、MEDLINE、EMBASE、およびISI Web of ScienceのScience Citation Index Expanded (SCI-EXPANDED)を検索した(最終検索日2013年2月)。また、Cochrane Hepato-Biliary Groupより提供を受けた、American Society of Clinical Oncology、American Association for the Study of Liver Diseases (AASLD)、European Association for the Study of the Liver (EASL)の年会の抄録集も2013年2月分までを検索した。

選択基準: 外科的切除と肝臓移植を比較したランダム化臨床試験。

データ収集と分析: 検索結果が選択基準を満たしているかについて、2名のレビューアが独立に評価した。

主な結果: 肝細胞癌の主要な治療法として、外科的切除と肝臓移植を比較しているランダム化臨床試験は見つからなかった。

レビューアの結論: 肝細胞癌の治療として外科的切除と肝臓移植を比較しているランダム化臨床試験は存在しなかった。

平易な要約(Plain language summary)

肝細胞癌における外科的切除と肝臓移植との比較

肝細胞癌の主な2つの治療法は肝臓移植と肝臓切除です。これら2つの方法を比較するため、肝細胞癌の診療法として肝臓切除と肝臓移植を比較しているランダム化臨床試験について、2013年2月までの文献データベースを検索しました。研究のなかで我々の選択基準を満たしているものは同定されませんでした。本レビューの解析対象となるランダム化臨床試験は存在しませんでした。肝細胞癌患者における外科的切除と肝臓移植との比較で、どちらかを支持あるいは反論するランダム化臨床試験はありませんでした。

翻訳公開日:2014年 7月 23日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点
がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版
の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版
(英語版)の内容をご確認ください。